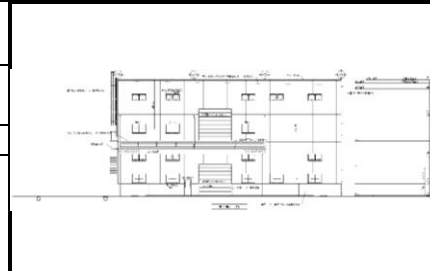


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堺事業所南工場整備計画新工場増	階数	地上3F
建設地	堺区戎島町五丁2番1・15番・16番	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2018年2月20日
敷地面積	2800.00(仮想) m <sup>2</sup>	作成者	杉本建設(株)
建築面積	1,405 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,464 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 2.7  
LR2 資源・マテリアル: 3.1  
LR3 敷地外環境: 3.0

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行うなど、良好な景観を形成し、環境に配慮している。		
<b>Q1 室内環境</b> -	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。 また、補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 空地率を十分に確保し、風の通り道を確保することで、敷地内温熱環境の向上に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓を用いるなど水資源を保護している。 発泡剤を用いた断熱材を採用しないなど汚染物質含有材料の使用を回避している。 また、LGS下地を採用するなど非再生性資源の使用量削減へ配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺事業所南工場整備計画新工場増築工事【2号棟】	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区戎島町五丁2番1・15番・16番	0.9	B-
	主用途／延床面積	工場 / 2,464.22 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●	● ●	
省エネ対策	3	● ● ● ● ●	● ●	
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●	● ●	
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●	● ●	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.0	3
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				0.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				3.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				2.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			0.0	2
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			2.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	